

# 東はりま甲南会報

## 第27号

発行  
東播磨甲南会

[事務局]

〒675-0017  
加古川市野口町  
良野365-11

行政書士澤本事務所  
澤本武司 気付

TEL 079-421-1747  
FAX 079-439-2842

E-mail  
sawamoto@gyosei.or.jp

こちらのQRコードから  
東播磨甲南会のHPが  
ご覧頂けます



東播磨甲南会

会長 栗山隆博

加古川市役所(文学部昭和62年卒)

会員の皆さまにおかれましては、ご清祥にてのご活躍をお慶び申し上げます。三宅前会長から会長を引き継ぎましたが、未だコロナ感染症の影響が長引き、活発な活動に至りませんでしたこと、この場をお借りして謝罪させていただきます。申し訳ございませんでした。

さて、昨年度のご挨拶でも申し上げましたとおり、東播磨甲南会は同窓の皆さまの親睦を図るとともに、学園とのパイプ役を果たし現役学生に対しての情報提供などの役割を果たしてまいり所存でございます。関係各位のご理解ご協力を賜りますようお願いいたしました。



甲南大学同窓会甲南会

会長 丹羽一郎

内外電機株式会社 代表取締役社長

東播磨甲南会の会員の皆さま、平素は甲南大学同窓会甲南会の活動に多大なるご厚情を賜り厚く御礼申し上げます。

甲南大学同窓会甲南会は、昨年11月に少子化で学校経営が厳しさを増す中、母校の知名度向上や学生支援、地域社会への貢献を目指そうと、一般社団法人として活動する甲南大学同窓会甲南会と、学習院校友会、成蹊会の三団体が連携協定を結びました。各団体を歴史的、地理的に象徴している花(学習院は桜、成蹊会は桃李、甲南会は梅)と、古今著聞集の記述にちなんで「桜梅桃李の会」と命名されました。あわせて35万人超の連携規模となり、難解な時代のさまざまな問題に向き合っていくことになりました。

この2年間、「On Your Mark」〜新しい出発\*位置について〜「Get Going」甲南会〜ともに進もう〜を活動テーマに掲げて活動してまいりました。この流れを途切れることなく未来へと繋いでいくために、2024年度の活動テーマを「Keep Going」甲南会〜歩み続けよう〜としました。同窓生同士が楽しく集い、広く、深く、「甲南」の絆を深め、同窓会活動が次代へと続いていくよう、着実に歩み続けていく決意を込め、平生夙三郎先生の訓えを胸に、同窓生が力を合わせて、母校と同窓会員相互の発展に寄与していただける活動を目指したいと思っております。東播磨甲南会の会員の皆さまが、栗山会長を中心に力を合わせ、貴会がますます発展されることを祈念申し上げます。

## 加古川「知」を結ぶプロジェクト

令和6年2月17日(土)、加古川市役所新館にて加古川「知」を結ぶプロジェクト成果報告会が開催された。

[当日の様子・参加者]



参加チームは足立ゼミ(経済学部)、金坂ゼミ(マネジメント創造学部)、望月ゼミ(経営学部)。

[発表内容]

足立ゼミはヒアリングや調査を行い、加古川市で就職し、仕事をしながらの結婚・出産・子育てを楽しく実現するためのアイデアを提案した。

かつてとは様子が異なり、理想と現実のギャップが学生たちの調査によって明確になったようだ。企業と行政の双方をからめた保育系施設の検討や、加古川市の既存ホーム

ページの問題点を指摘するなど、これらの問題に直面する当事者ならではの意見があった。「知」を結ぶプロジェクトで扱う内容として他では得難いものであったように思う。

金坂ゼミは、加古川市の農家の数が減少しているという難しい問題に取り組み、農家の広報の改善や、甲南ならではのといえる撰津祭への出店を提案した。

農家へのヒアリングから、市場の変化に伴う販路開拓の難しさが課題の1つであり、撰津祭を利用しての広報や、オンライン直売所を利用した新たな販路開拓など、収益性を改善するための案が上がった。SNSを運用したプロモーションやオンラインの活用は大変重要であり、数十年単位で将来のことを考えた提案になっていたように思う。

望月ゼミは、街の活性化のために、「かわのまちマーケット」を更に1歩すすめるための提案を行った。

学生たちは、まずは加古川中心エリアの現状と理想像、あるべき姿の模索からはじめ、先行事例の研究などを行った。そして、マーケットの課題への対応、公共空間の利用可能性、関係性・エリアビジョンの3点から、学生たちのチャレンジゾーンの設置や様々な地域でのコラボレーションを行うことを提案した。新しい変化のさざしのようなものを感じることができたように思う。

本年度の最優秀賞には望月ゼミが選ばれた。プレゼンの完成度がすばらしかったと感じた。なお、本年度は参加チーム数の関係で、当会独自の賞である東播磨甲南会賞の授与は見送った。

加古川「知」を結ぶプロジェクトは本年度で8年目となる。このイベントは学生達にとっても貴重な経験を提供できていると思われ、当会も継続して協力していきたい。

報告会の後に開催している交流会では、学生達から将来に関する様々な質問を受けた。大学の掲げるビジョンの一助となれば我々としても大変喜ばしく思う。

## 2024年総会・懇親会の開催について

- 日時 ● 令和6年6月1日(土) 16時30分から(16時から受付)
- 場所 ● 加古川プラザホテル(加古川市加古川町溝之口800)
- 催し ● やまさきそらさんのマジックショー
- 参加費 ● 5,000円



### 東播磨甲南会 役員組織 (R5~R7年度)

顧問	渡邊 東(S40経済)	・	<総務委員会>
名誉会長	三宅 隆宏(S41経営)	・	委員長 岩崎 泰央(S62法)
会長	栗山 隆博(S62文)	・	副委員長 藤原 武彦(S60経営)
副会長	大庫 良一(S54経済)※筆頭	・	陰山 大輔(H18法)
	中尾 知也(S50法)※総務担当	・	<地区委員会>
	宮本 了介(H14経済)※地区担当	・	委員長 井奥 貴子(H3経営)
	松本 浩一(S49文)※広報担当	・	副委員長 丹後 昌博(S54法)
幹事長	森 正英(H26FS)	・	日坂 祐介(H24経営)
会計	榊谷 有美(H3経営)	・	柳井 景二(H18経済)
監事	西尾 淳(S39経営)	・	<広報委員会>
同窓会	籠谷 紘義(S40経営)	・	委員長 新濱 義孝(S62理)
本部理事	富居 雅人(S62文)	・	副委員長 富居 雅人(S62文)
事務局長	澤本 武司(H6理)	・	松浦 佳秀(H23文)

### 入会のご案内

- 目的…甲南大学同窓会の東播磨支部として、本部及び大学との連絡を密にするとともに会員相互の親睦を図り、母校の発展に寄与することを目的とする。
- 入会資格…甲南学園卒業生で加古川市、高砂市、加古郡及びその近郊に在住、勤務。
- 入会金…終身会費1万円(初回のみ)
- 入会方法…総会時受付で申し出て頂くか、直接事務局へ。
- その他のご負担…総会・行事毎に参加者からその都度会費(実費)をいただきます。

#### ■事務局

〒675-0017  
 加古川市野口町良野365-11  
 行政書士澤本事務所 澤本武司 気付



TEL 079-421-1747  
 FAX 079-439-2842  
 E-mail sawamoto@gyosei.or.jp

#### 編集後記

加古川「知」を結ぶプロジェクトもついに8回目。10周年までもうすぐだ。

学生達は今、変化がすさまじい時代の中にいる。彼ら、彼女らの将来を少しでも良い方向へ導けるよう、今後とも我々は出来る限りの協力をしていきたいものだ。  
 (M.M)